

白川村エコツーリズム推進全体構想について

1. 背景および目的

白川村は、岐阜県北西部に位置し、日本でも有数の豪雪地帯で、白山国立公園や天生県立自然公園など生物多様性に富んだ豊かな自然が存在する地域で、村全域が白山ユネスコエコパークの登録エリアになっている。また村には 1995 年に世界遺産（文化遺産）に登録された白川郷合掌造り集落等の貴重な文化資源がある。近年、海外からの観光客も増加している一方で、交通の利便性の向上とともに通過型の観光地化が定着している。このため、地域固有の自然・文化資源を生かしたツアーを増やし、より地域の魅力を伝えられる着地型観光への移行を目指し、様々なプログラムを開発している。今後、これらの取り組みを踏まえ、地域の活性化を図りつつ、エコツーリズムの考えに基づく自然環境への配慮を促す観光推進の仕組みを構築し、持続可能な観光立村を目指すため「白川村エコツーリズム推進全体構想」を作成した。

2. 概要

■ 白川村エコツーリズム推進全体構想を推進する地域

白山国立公園を中心とする南部地域の豊かな自然、世界遺産合掌造り集落に限らず、村の面積の 95.7%を占める森林や河川など、全域に豊かな自然や地域固有の文化資源が存在しており、それら資源を活かしたエコツーリズム推進のため、白川村全域を対象にする。

■ 対象となる自然観光資源

○ 自然環境に係るもの

国の天然記念物であるニホンカモシカ、ヤマネ等／猛禽類のイヌワシ、クマタカ等／

甲虫類のヒメオオクワガタ、ミヤマクワガタ等／白山国立公園・大白川地区、大窪池、三方岩岳、野谷荘司山等

○ 風俗習慣その他の伝統的な生活文化に係るもの

蚕飼祭・春駒、どぶろく祭、民謡・こだいじん、合掌屋根の葺き替え・茅刈り、ヒデ細工

■ 白川村エコツーリズム推進全体構想の実施方法

白川村の生物多様性に富んだ豊かな自然を守り、持続可能な観光まちづくりを目指すとともに、豊かな文化を継承し、伝統を活かした多種多様なエコツアーを開発し、宿泊滞在型のエコツーリズムの確立を目指しながら、村民・行政・関係団体が一丸となってガイド人材の育成やホスピタリティの情勢を目指し、エコツーリズムに取り組む。

○ 主なエコツアー

① 豊かな森林を活用したツアー（大白川原生林ガイドツアー、新緑と残雪の森ハイキング、スノーシュートレッキング）

② 山岳を活用したツアー（白山登山ツアー、白水の滝観瀑台ツアー）

③ 水辺を活用したツアー（白水湖でのラフトボート体験ツアー、大白川河川でのシャワークライミング）

④ 豊かな文化を継承し、伝統を活かした多種多様な体験をすることを目的とするもの（合掌集落前山ガイドツアー）

■ 白川村エコツーリズム推進全体構想の推進体制

白川郷まると体験協議会

NPO 法人 白川郷自然共生フォーラム、一般財団法人 白川村緑地自然開発公社、
白川郷じ・ば産組合、一般社団法人 白川郷観光協会、白川村商工会、白川村他

白川村エコツアーの写真

大白川原生林ガイドツアー



新緑と残雪の森ハイキング



スノーシュートレッキング



白山登山ツアー



白水の滝観瀑台ツアー



白水湖でのラフトボート体験ツアー



大白川河川でのシャワークライミング



合掌集落前山ガイドツアー

